



～6つの重点プロジェクトを推進～ 第4次三島市総合計画（前期基本計画） を見直しました

市総合計画（計画期間10年間）は、市の将来都市像「せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島」を実現するため、総合的なまちづくりの指針となる最上位計画です。この計画に沿って全51の施策を市民、NPO、事業者の皆さんと行政が一体となって推進しています。

問合せ 政策企画課（☎983-2698）

計画の見直し期間

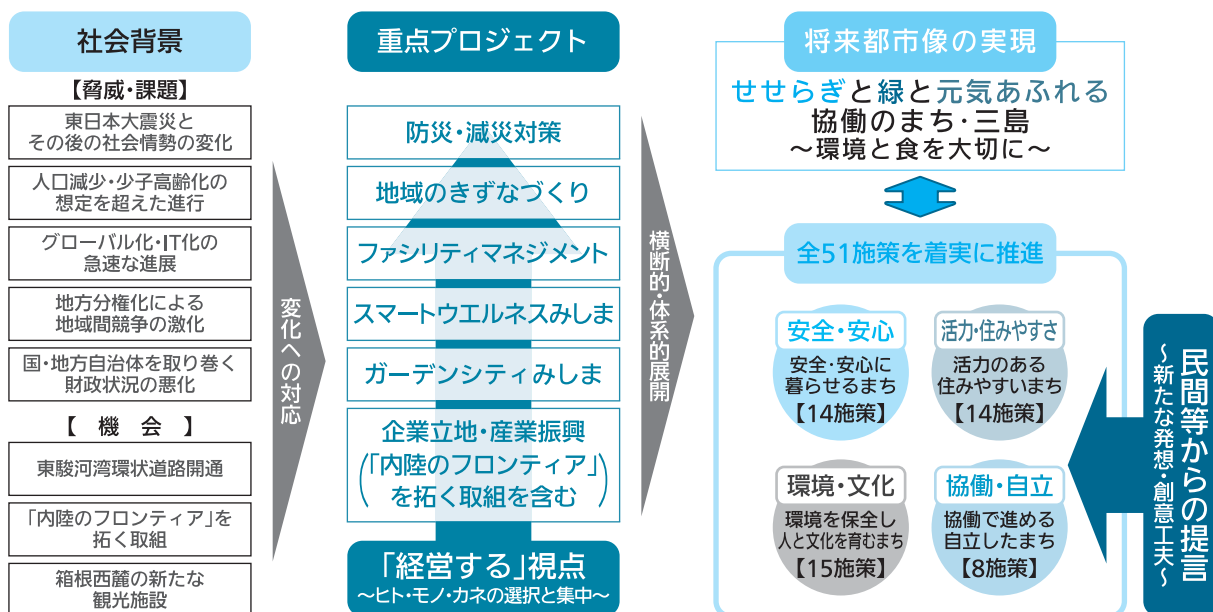
第4次三島市総合計画前期基本計画の計画期間である平成23年度～27年度のうち、平成26年度～27年度について見直しを行いました。

見直しの背景

本計画は平成23年4月にスタートしましたが、その直前、平成23年3月11日に東日本大震災が発生し、以降、社会・経済への影響や価値観などに大きな変化が生じています。また、人口減少や少子高齢化の想定を超えた進行とそれらに伴う財政の見直しなど、自治体として持続的に発展していくために、「経営の視点」を取り入れ、地域の資源を生かした魅力ある戦略的なまちづくりが不可欠となっています。

見直しの特徴

- ①社会情勢の変化への対応
県が提唱する「内陸のフロンティアを拓く取組」などへの迅速・的確な対応に努めました。
- ②民間からの提言の反映
商工会議所など民間からの提言による新たな発想、創意工夫の計画への反映に努めました。
- ③市民力を生かした重点プロジェクトの設定
戦略的な方策として地域のきずなづくりなど6つの重点プロジェクトを位置づけ、計画全体に浸透させ「市民力」を生かし、効果的に施策を推進していきます。
- ④後期基本計画への継承
即時的な視点から、大幅な計画改定でなく、前期基本計画5年間の内、平成26～27年度の修正・見直しにとどめ、後期基本計画につなげていきます。



今後の「三島」を形作る6つの重点プロジェクト

1 防災・減災対策の推進

「自らの命は自ら守る」「自らの地域は皆で守る」を基本に、行政と各組織が連携しながら、安全・安心なまちづくりに取り組みます。

主な取組・見直し項目（施策名）



- ▶避難行動要支援者の支援体制づくり（地域福祉ほか）
- ▶女性に配慮した防災対策（危機管理体制）
- ▶消防指令センターの共同運用（消防・救急）

2 「地域のきずなづくり」の推進

地域の見守りの中で、次代を担う子どもたちが健やかにたくましく育ち、子どもからお年寄りまで笑顔あふれる社会の実現を目指します。

主な取組・見直し項目（施策名）

- ▶子どもは地域の宝とする子育て支援（子育て）
- ▶ご近所力の強化（コミュニティ）
- ▶市民主体のまちづくり活動の支援（協働）



3 ファシリティマネジメントの推進

公共施設のあり方や計画的な保全などについて定める「（仮称）公共施設保全計画」の策定を進め、市が所有する公共施設の方向性や具体的計画を示します。

主な取組・見直し項目（施策名）



- ▶「（仮称）公共施設保全計画」の策定（財政運営）
- ▶道路の維持修繕計画の策定（道路）
- ▶橋梁長寿命化修繕（道路）

4 「スマートウエルネスみしま」の推進

健康づくりをはじめ、いきがい・きずなづくり、地域活性化、産業振興に至る幅広い分野に健康の視点を取り入れた、“^{けんこう}健幸”都市みしまの実現を目指します。

主な取組・見直し項目（施策名）

- ▶高齢者のいきがいと自立の支援（高齢者福祉）
- ▶歩車共存道整備事業（道路）
- ▶スポーツツーリズム、スポーツ産業振興の推進（観光ほか）



5 「ガーデンシティみしま」の推進

富士山からの湧水と緑、文化や歴史など、三島の誇れる財産に「花」を加え、「美しく品格のあるまちづくり」を市民との協働で推進し、観光や産業振興、地域の活性化などにつなげていきます。

主な取組・見直し項目（施策名）



- ▶ガーデンシティを推進する景観誘導（景観）
- ▶楽寿園の保全と中核施設としての活用（緑・水辺空間）
- ▶地域の花壇づくり（緑・水辺空間）

6 企業立地・産業振興（「内陸のフロンティア」を拓く取組を含む）の推進

既存企業の育成をはじめ東駿河湾環状道路のインターチェンジを拠点として、三ツ谷工業団地のほか4事業を推進し、観光振興、企業誘致、産業振興を図り、地域の活性化を進めます。

主な取組・見直し項目（施策名）

- ▶内陸のフロンティアを拓く取組の推進（企業誘致ほか）
- ▶農業・観光関連施設集積事業（農業ほか）
- ▶みしま経営ステーションの活用（工業・新産業）



修正版第4次総合計画は市ホームページで公開しているほか、図書館や市役所などでも閲覧できます。